



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011  
知の新世紀を拓く

名工大FD (50分)  
12/07/15 @名古屋工業大学

思考力・表現力・協働性の評価を目指して  
---九州大学21世紀プログラムを例に---

## 林 篤裕

(九州大学 基幹教育院  
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



資料掲載URL:

www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/haifu/#Meikou1512

## 歴史

学部を中心に

1867 黒田藩医学学校 養生館  
1877 福岡病院  
1879 福岡県立 福岡医学学校附属病院  
1888 福岡県立 福岡病院  
1903 京都帝国大学 福岡医科大学

東京、京都、東北  
に続く4番目の  
帝国大学として

1911  
九州帝国大学

1911 九州帝国大学 医科大学、工科大学  
1919 医学部、工学部、農学部  
1924 法文学部  
1939 理学部  
1947 (旧制) 九州大学  
1949 (新制) 九州大学 文学部、教育学部、法学部、経済学部  
1964 薬学部  
1967 歯学部  
2003 芸術工学部 (九州芸術工科大学と統合)  
2004 国立大学法人 九州大学



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011  
知の新世紀を拓く



## 九州大学 概要

総長1・理事8・監事2 計11名

学部 11 (+1)  
大学院学府 18

附置研究所等 4  
附属図書館 1 (分館6)  
(蔵書約400万冊)  
病院 1 (約1,200床)  
全国共同利用施設 1  
学内共同教育研究施設 37  
機構 4

2014年5月1日現在

学部学生 11,859名  
(女子 3,344名)  
大学院生 6,987名  
(女子 1,926名)

外国人留学生  
1,972名 (79ヶ国・地域)  
学生の海外留学 2013年度  
612名 (42ヶ国・地域)

教員 2,106名  
教授 699名  
准教授・講師 732名  
助教他 675名  
事務・技術職員  
2,010名

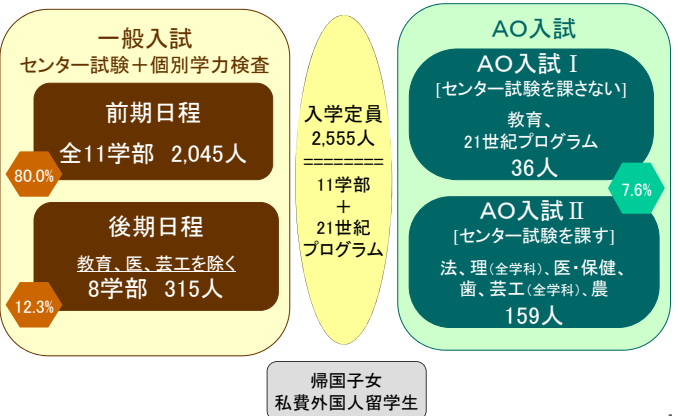
学部卒業  
約14.0万人  
修士修了  
約5.0万人  
博士学位  
約2.7万人

土地 約76km<sup>2</sup>  
福岡、長崎、熊本、  
大分、宮崎、鹿児島、  
北海道



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011  
知の新世紀を拓く 3

## 2016年度(平成28年度) 入学者選抜



4

## 九州大学AO入試 2016年度AO入試

文学部	8
教育学部 ★	10
法学部 → 15年に再登場	10
経済学部	
物理	10
化学	15
理学部	
地球惑星	8
数学	8
生物	5
医学部	
医学	
生命科学	
看護	9
保健	
放射線	6
検査	6
歯学部	8
薬学部	
創薬科学	12年に終了
臨床薬学	
工学部	
環境設計	8
工業設計	15
芸術工学部	
画像設計	18
音響設計	5
芸術情報設計	8
農学部	20

21世紀プログラム ★ 26

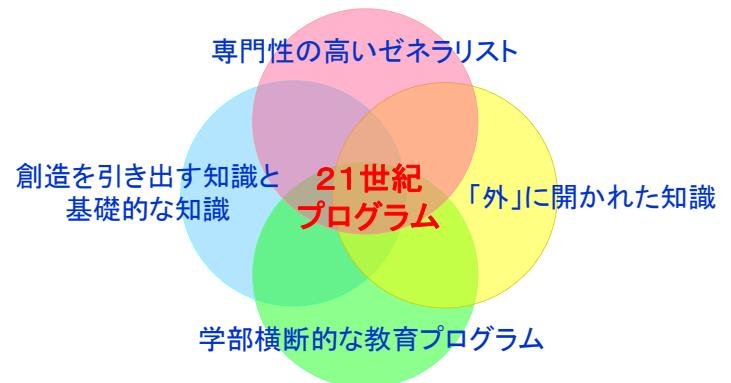
7+1学部 18募集区分  
総募集人員 195名

★: センター試験を課さない

定員の 7.6%

5

## The 21st Century Program 理念



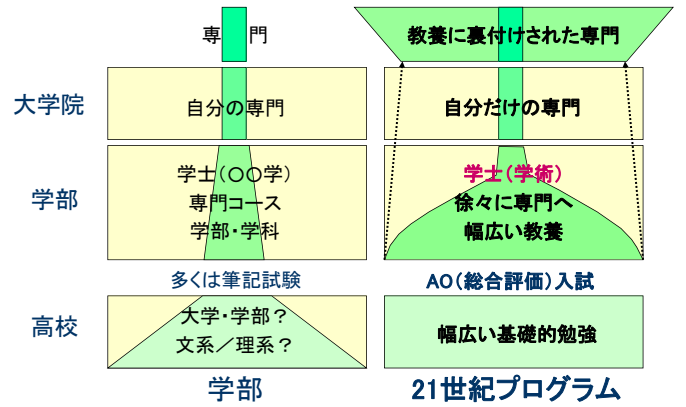
6

# 21世紀プログラム：教育の枠組み

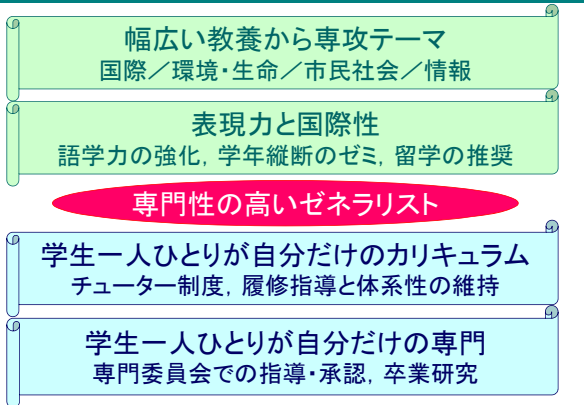
2003年度 文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択



# 21世紀プログラム 専門を決める



# The 21st Century Program 教育の柱



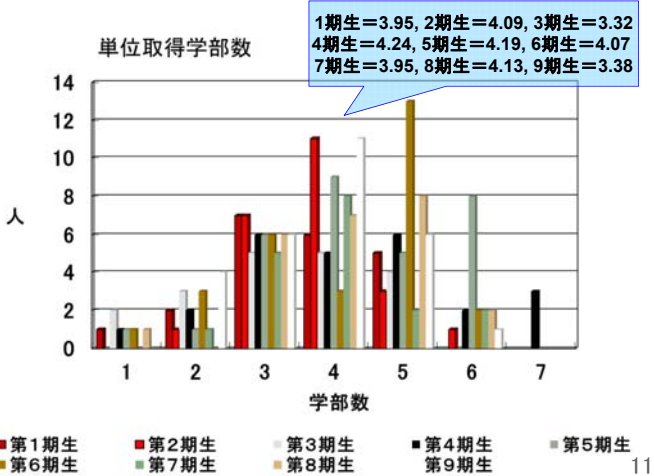
# The 21st Century Program カリキュラム

基幹教育科目	単位	年次	専攻教育科目	単位	年次
基幹教育セミナー	1	1	チュートリアル	8	1-4
課題協学科目	5	1	プログラム・ゼミ	16	1-4
言語文化基礎科目	12	1-2	21世紀プログラム英語	3	2
ディシプリン科目	16	1	課題提示科目	8	1-2
健康スポーツ科目	1	1	課題研究	1	2
総合科目他	4	1	専攻テーマに関わる科目	36	2-4
高年次基幹教育科目	2	2-4	卒業研究	4	4
その他	7	2-3	<b>計</b>	<b>76</b>	
<b>計</b>	<b>48</b>		<b>合計</b>	<b>124</b>	

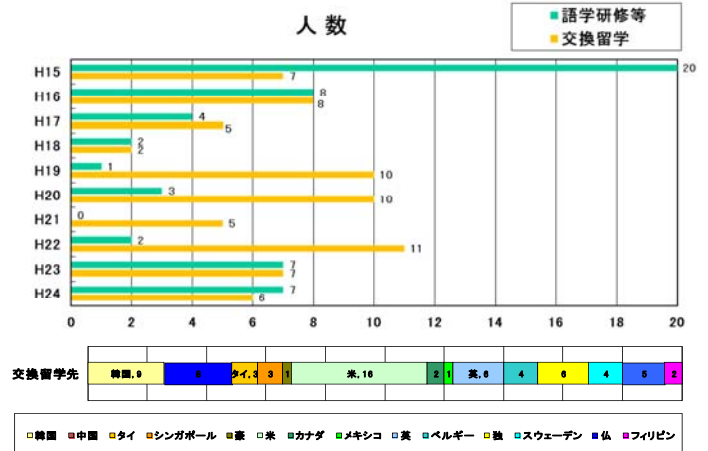
基幹教育科目と全学の専攻教育科目から

特別科目A・B  
社会連携科目A・B

# The 21st Century Program 履修学部数

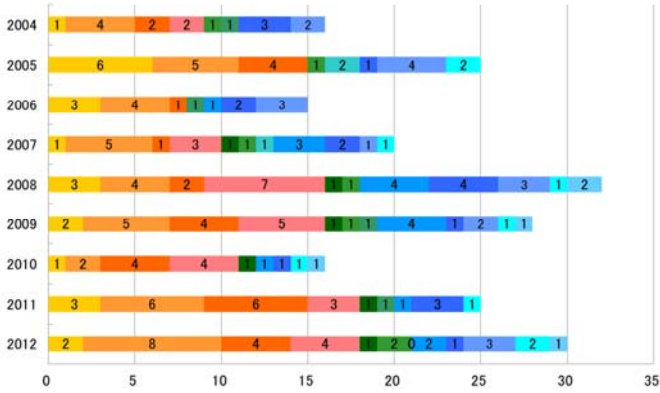


# The 21st Century Program 留学・語学研修



## The 21st Century Program 卒業研究

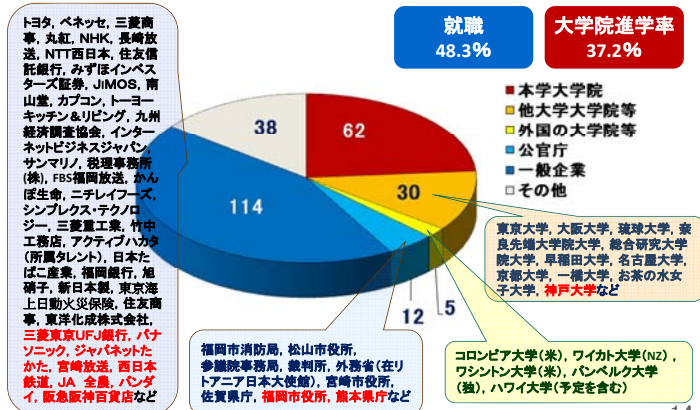
2004年度～2012年度卒業生



13

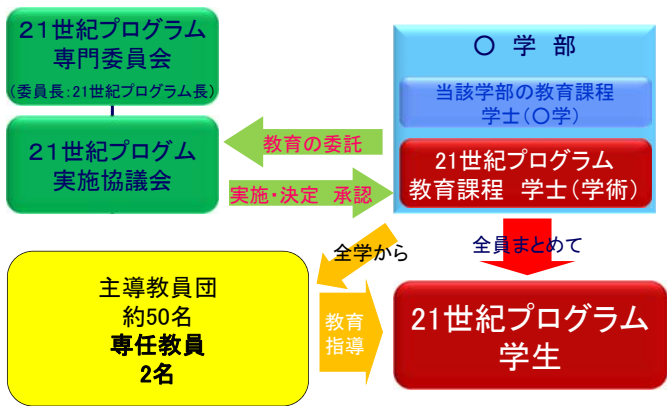
## The 21st Century Program 卒業生の進路

卒業した第1期生～第11期生(261名)



14

## The 21st Century Program 実施の枠組み

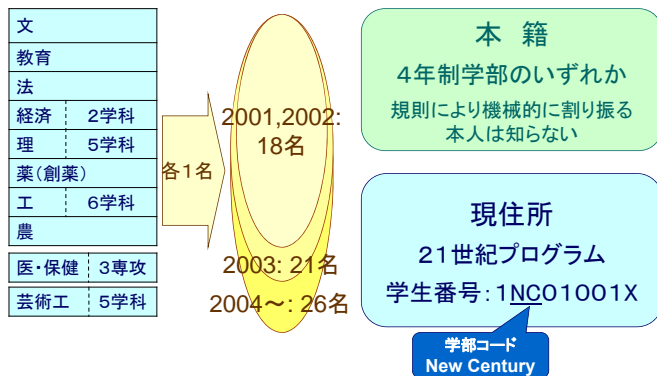


九州大学学部通則第16条:各学部(医学部医学科、歯学部及び薬学部臨床薬学科を除く。)に、学部横断型の教育を行うための教育課程として、九州大学21世紀プログラムを置く。

15

## The 21st Century Program 定員(募集人員)と学籍

4年制学部の募集区分の前期日程から各1名



16

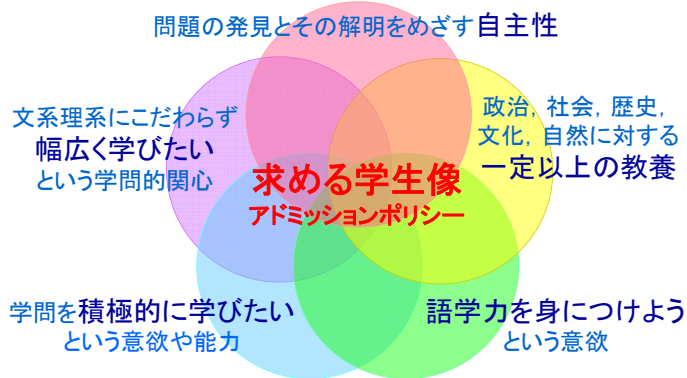
## The 21st Century Program 課程現況

	入学期	募集	合格者	課程現況					うち大学院進学者	
				年度	入学者	転課程学部	交換留学	医学研修等		卒業者
卒業	1期	18	20 (5)	2001	20 (5)	1 (0)				
	2期		22 (6)	2002	22 (6)	2 (1)	7			
	3期	21	19 (5)	2003	19 (5)	0 (0)	8	20		
	4期		25 (5)	2004	25 (5)	1 (1)	5	8	16	11
	5期		30 (12)	2005	30 (12)	1 (0)	2	4	25	12
	6期		27 (7)	2006	26 (7)	2 (1)	10	5	15	9
	7期		27 (9)	2007	26 (8)	2 (1)	10	2	20	9
	8期		27 (10)	2008	27 (10)	2 (1)	6	4	33	13
	9期		28 (7)	2009	27 (7)	1 (0)	9	4	28	7
	10期		27 (6)	2010	27 (6)	1 (0)	10	6	19	9
	11期		25 (8)	2011	25 (8)	0 (0)	7	8	27	8
	12期		28 (10)	2012	28 (10)	0 (0)	6	17	30	11
在学	13期		25 (9)	2013	25 (9)	1 (0)	13	10	24	4
	14期		25 (5)	2014	25 (5)	0 (0)	9	18	24	4
	15期		25 (7)	2015	24 (7)	0 (0)				
	総計		380 (111)		376 (110)	14 (6)	102	106	261	97
在学生数		103 (31)								

(カッコは男子で内数。2015/4/1現在)

17

## The 21st Century Program 求める学生像



18

The 21st Century Program **選抜の流れ**

<b>願書受付</b>	9月下旬	9/16(水)~25(金)
	調査書, 志望理由書, 活動歴報告書	
<b>第1次選抜</b>	10月中旬 書類審査	10/16(金)頃 1次合格発表
<b>第2次選抜</b>	11月上旬	
第1日目	講義・レポート (3テーマ)	10/31(土)
第2日目	グループ討論, 小論文, 個人面接	11/ 1(日)
<b>合格発表</b>	11月下旬	11/25(水) 2次合格発表

選抜の過程が入学後の修学の過程

(日程は2016年度のもの)<sub>19</sub>

## 第1次選抜

- ◆ 出願時提出資料
  - ◆ 志望理由書(2面)
    - 志望する理由、自己の適性や抱負
  - ◆ 調査書等(内申書)
  - ◆ 活動歴報告書(2面): 中学からの活動を記載可
    - 各種活動、表彰、資格等
- ◆ 書類審査
  - ◆ 「AP」や「求める学生像」との合致度合を評価
    - 理念の理解度等
  - ◆ 試験場施設の関係から3倍程度に絞る (2016年度の例では77名。3.0倍)

## 第2次選抜

第1日目(土曜日)

9:30-11:30	講義1・レポート1 (120分)	軸が違う3テーマ 講義:約50分 レポート:約70分
12:30-14:30	講義2・レポート2 (120分)	
15:00-17:00	講義3・レポート3 (120分)	講義や資料に 英語を含むことがある

第2日目(日曜日)

論題は当日朝に提示(“予習”を避けるため)

9:00-11:30	グループ討論 (150分)	3つの講義から2つを選んで討論
12:30-17:00	小論文 (270分)、個人面接	15分/人

3つの講義のいずれかに関連するテーマを設定して作成

随時別室で休憩可

The 21st Century Program **講義**

年度	題目	
H24 (2012)	1 放射線と健康の科学	直近5年分。全部で16年分あり。
	2 歴史 学問と教科の間	
	3 民主主義の根拠にあるもの	
H25 (2013)	1 「邪馬台国」と考古学 - 通説と考古学の間	楽しく受験することができてよかった
	2 独裁体制はいかに維持されるのか	いろんな方がいてとても楽しかった
	3 The Wonder of Water (水の不思議)	心癒れ込みました。絶対に来たい
H26 (2014)	1 心は物質に還元できるか?	大学の講義を聴いただけでも、
	2 世界のイノベーション構造の変化 - 「リバースイノベーション」、「イノベーションのジレンマ」	受験と感しないほど明るい雰囲気
	3 生物の自己複製 - DNA複製からIPS細胞の作	初めて会った人とも気軽に話
H27 (2015)	1 身の回りの確率論 - 確率を使って -	何の話があるのか興味津々だった
	2 里地・里山の保全と農山村の持続性 - 人口減少社会と集中豪雨災害 -	
	3 古語は辺境に残る? - 言語史研究の方法 -	
H28 (2016)	1 今、生物多様性を考える - 地球規模の課題の解決のために -	
	2 ものの見える方を考える - 文化人類学の視点から -	
	3 平等のための不平等? --- ポジティブ・アクションの是非 ---	



## 第2次選抜 グループ分け(討論、面接)

- ◆ 5グループ、各16名まで
  - ◆ 第1次成績を均等化
  - ◆ 右表をベースにし、加えて
    - ◆ 男女比が均等
    - ◆ 現浪比が均等
    - ◆ 地域性が均等
    - ◆ 同一高校別グループ
- なるようにグループを編成

第1次成績

	あ	い	う	え	お
	1	2	3	4	5
	10	9	8	7	6
	11	12	13	14	15
	20	19	18	17	16
	21	22	23	24	25
	30	29	28	27	26

The 21st Century Program **評価体制**

1次	書類審査	2次	講義1	講義2	講義3		
委員	●●●●	A委員	●●●●	●●●●	●●●●	他に監督等 5~10名	
志望理由書	全志願者 (116名)	レポート	●:主担当				
調査書等		小論文	全受験生(77名)				
活動歴報告書		選択した受験生					
		2次	あ	い	う	え	お
		B委員	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
		討論	●:文系、●:理系、●:総括 / 3名中1名女性				
		面接	1グループ受験生14~15名				

(人数は2016年度のもの)

- ◆ 評価は、A~Dの4段階評価 (活動歴報告書は3段階評価)

## 評価方法

- ◆ 評価：A～D（活動歴報告書はA～C）
- ◆ 評価順位：1位～48位：直方体のセル
- ◆ 評価(順位)点：1位～受験者数
  - ◆ 同一順位の人数を考慮した順位
- ◆ 合計評価点：評価者ごとの順位の総和
  - ◆ 値が小さい方が高順位
- ◆ 査定
  - ◆ 選抜に関係した35名程度で行う
  - ◆ 討論・面接時の対応、レポート・小論文の評価
  - ◆ D評価を付けた理由について
  - ◆ .....

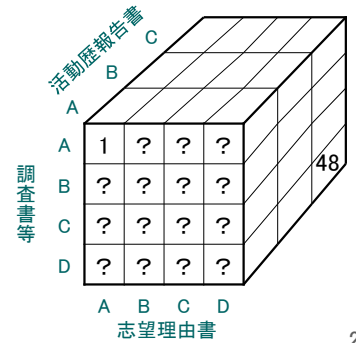
25

## 多次元マトリックス方式

例：第1次選抜の順位付け(3次元)

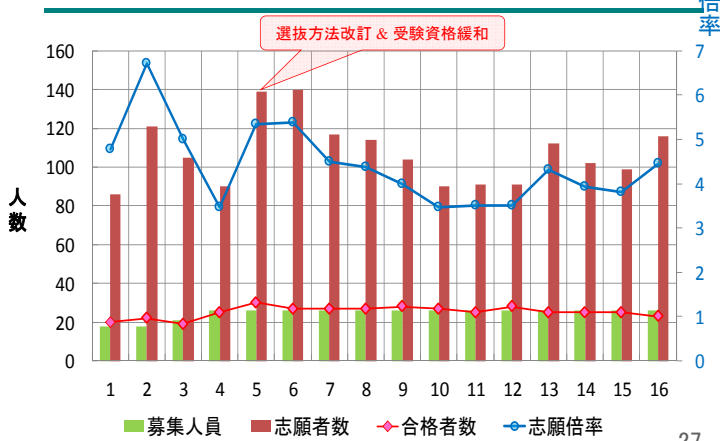
1次：書類審査  
4名の委員が各々に  
全受験生を評価

- ①志望理由書
  - ②調査書等
  - ③活動歴報告書
- を3次元で評価



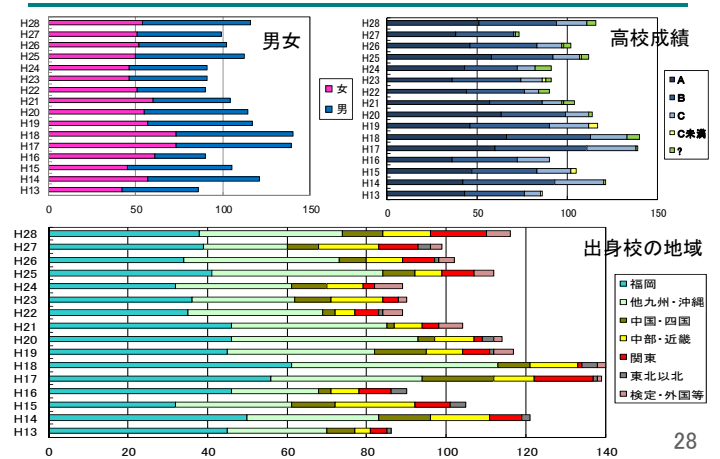
26

## The 21st Century Program 志願者数の推移



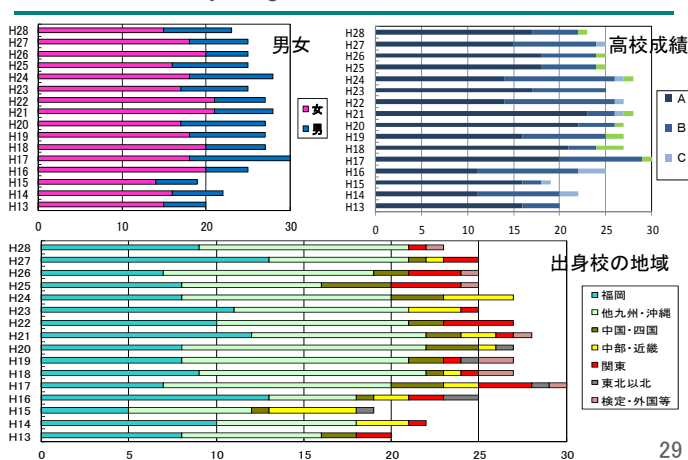
27

## The 21st Century Program 志願者の推移



28

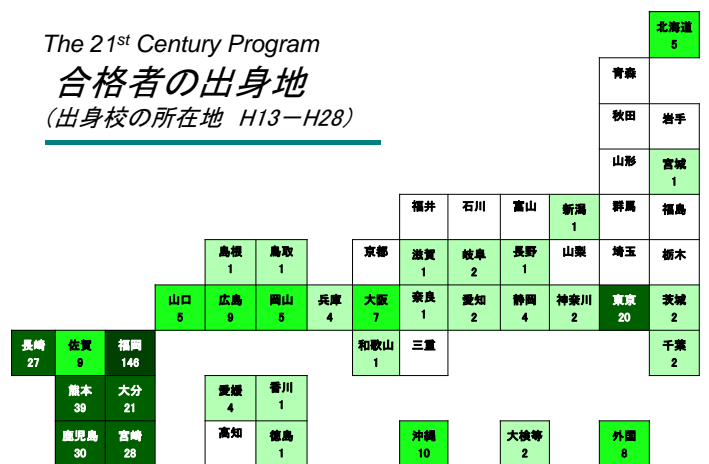
## The 21st Century Program 合格者の推移



29

## The 21st Century Program 合格者の出身地

(出身校の所在地 H13-H28)



30

## [参考] 九州大学 AO入試の変遷

セ試	学部等	~1999	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	
課さない	21世紀プログラム	x	★	18	21								26							
	教育																			
	法																			
	薬																			
課す	物理																			
	化学																			
	地球惑星																			
	数学																			
	生物																			
	医																			
	保健(3専攻)																			
	歯																			
	環境設計																			
	工業設計																			
	画像設計																			
	音響設計																			
	芸術情報設計																			

\*セル内の数字は募集人員 総募集区分 3 5 6 11 13 13 16 16 19 20 19 19 19 17 17 18 18  
 総募集人員 76 104 114 156 170 170 179 179 223 237 201 197 197 185 185 195 195  
 総志願者数 469 467 496 594 523 721 696 768 834 786 825 677 728 763 684 689  
 総倍率 6.2 4.5 4.4 3.8 3.1 4.2 3.9 4.3 3.7 3.3 4.1 3.4 3.7 4.1 3.7 3.5

★:以前の経験なし

多くが推薦からの移行 (現在、推薦入試は実施していない)

国立大学初 (他に東北・筑波)

※法学部はセンター試験を課すAOとして15年に再登場

## [参考] 九州大学 AO入試の選抜方法

セ試	学部等	1次選抜	2次選抜		
課さない	21世紀プログラム	書類審査	講義・レポート/討論,小論文,面接		
	教育	小論文	プレゼンテーション, 面接		
	法	(小論文)	(口頭試問)	09年終了	
	薬	創薬科学 (書類審査)	(小論文, 面接)	12年終了し 後期に移行	
課す	法		英語学力試験, 面接	15年再登場	
	物理		課題探求試験, 面接		
	化学		面接		
	地球惑星		課題探求試験, 面接		
	数学		課題探求試験, 面接		
	生物		面接		
	医	保健(3専攻)	書類審査	小論文, 面接	
	歯			小論文, 面接	
	環境設計			面接, 実技	
	工業設計			面接, 実技	
	画像設計			実技	
	音響設計			小論文, 実技を含む面接	
	芸術情報設計			小論文, 実技	
農			小論文, 面接		

センター試験成績

## まとめ(1): 21世紀プログラム

- ◆ 学部横断型教育
  - ◆ 「専門性の高いジェネラリスト」の育成
  - ◆ 海外留学を推奨＝「外」に開かれた知識、トビタテ!留学JAPA
  - ◆ 総合大学の利点を活かした教育: 全11学部を履修可
    - 学内の協力のもとに運営
    - 総合大学として提供すべき課程では?
  - ◆ アクティブな学生の効用: 多様な学生の一つとして
  - ◆ 仕組みの構築・運営には工夫
  - ◆ 学内外からの理解を得ることに腐心
- ◆ 他学部学生への波及効果も: 「カナリヤ効果」
- ◆ 大学院進学をもっと増やせれば: 学内外、海外
- ◆ より一層の広報が必要

33

## まとめ(2): 21cpの入試方法

- ◆ 大学教育の一端を体験: 講義、ゼミ、レポート等
  - ◆ 聞く、読む、考える、議論する、まとめる、.....
  - ◆ 思考力、表現力、協働性、..... <=== 主体性の評価は?
- ◆ 日頃の高校生活を評価: “対策は不要/困難?”
  - ◆ 何を考えてきた? 大学に何を求めている? その準備状況は?
- ◆ 非常に手間がかかる → ◆ 惜しむべきではない
  - ◆ 受験側だけでなく実施側も ◆ “良い”学生の獲得
  - ◆ 準備、委員の選定・確保 ◆ 理念に沿った学生
  - ◆ 評価方法、公平性、..... ◆ 改良を続けながら継続
- ◆ 入試の実施: 人的ネットワークの必要性
- ◆ 評価方法: 細かなルーブリックは存在しない
  - ◆ 評価値のたまかな頻度等

34

## まとめ(3): 今後の大学入試

- ◆ 1次と2次に相関はあまりない＝悪いことではない
  - ◆ “優秀な”受験生の取りこぼしは 1次選抜においては是非とも避けなければならない
- ◆ 志願者を増やす方策
  - ◆ より一層の広報が必要: 進学説明会等
- ◆ “AO入試”という呼称と、その理解のされ方
  - ◆ この点の広報も
- ◆ 多面的評価に向けて
  - ◆ これまで実施されてきた試験方法の活用。新規開発は?
  - ◆ 組み合わせ、重み付け
- ◆ 今後の主流となりえるかは不透明
  - ◆ 特に大人数に対しての実施は? 3割でさえ可能??
  - ◆ それだけの志願者は居るのか?

35

## 参考資料

- 中央教育審議会 高大接続特別部会 (第7回), 三田共用会議所(東京), 平成25年5月24日。
  - 「高大接続特別部会 △ 第7回 ▲ 議事録」で検索すると、「第7回」のところに議事録と配付資料へのリンクあり(11月30日時点では)。
  - [www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo12/giji\\_list/](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo12/giji_list/)
- 文部科学省 教育課程課 編集
- 『中等教育資料』平成27年5月号, PP20-25, 特集 高等学校教育と大学教育の円滑な接続, 実践研究
- 「思考力・判断力の評価に重点を置いた選抜試験 ~九州大学21世紀プログラムを例に~」。